

EDUCATION PROGRAM

エデュケーション・プログラムのご案内

2017年は渋沢栄一の渡仏150年にあたります。

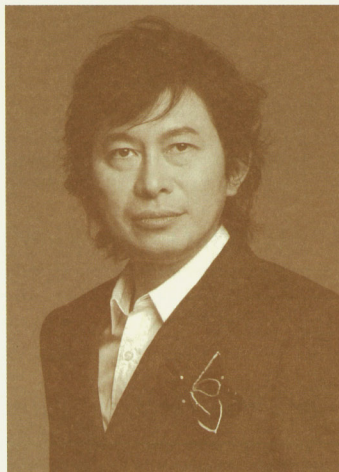
これを記念した渋沢史料館企画展「渋沢栄一、パリ万国博覧会へ行く」
[第2期]のエデュケーション・プログラムをご案内いたします。

渋沢栄一、
パリ万国
博覧会へ
行く

2017年
9月9日(土)～12月10日(日)

会場
渋沢史料館企画展示室
(東京都北区西ヶ原2-16-1 飛鳥山公園内)

9/9



©CREATIVE OFFICE CUE

オープニング記念トークショー 鈴木貴之×渋沢栄一

映画監督、構成作家、
小説家、タレントなど多
彩に活躍されている鈴木
貴之氏をお迎えして、
トークショーを開催しま
す。渋沢栄一の活動と重
ね合わせながら、「人生
の挫折」、「ヨーロッパ
巡歴」、「人材育成」など
をテーマにトークをお楽
しみにいただきます。

2017年9月9日(土)
13:30～15:00

出演 | 鈴木貴之氏
井上潤 (渋沢史料館館長)
中村圭一 (渋沢栄一記念財団総務部長)
会場 | 渋沢史料館
定員 | 40名 (全席指定)
費用 | 無料 (要入館券)
※事前申込制
お申し込み方法詳細は、公益財団法人渋沢栄
一記念財団のホームページをご覧ください。

10/15

1867コンサート 青淵文庫で聴く 音楽と建物レクチャー

当館恒例の大正建築・
青淵文庫 (重要文化財)
で聴く「音楽&レクチャー」
。今回は企画展にあ
わせて、「1867コンサ
ート」と題して開催します。
ピアニストの浦山純子氏
をお迎えして、素敵な音
楽とともに、かつて渋
沢栄一が使用した青淵文
庫の見どころ解説をお楽
しみにいただきます。

2017年10月15日(日)
午前の部 11:30～12:30
午後の部 14:00～15:00

演奏 | 浦山純子氏 (ピアニスト)
建物レクチャー | 川上 恵 (渋沢史料館学芸員)
会場 | 渋沢史料館 青淵文庫
定員 | 各回30名 (全席指定)
費用 | 無料 (要入館券)
※事前申込制
お申し込み方法詳細は、公益財団法人渋沢栄
一記念財団のホームページをご覧ください。



11
/
19

シンポジウム

1867年パリ万国博覧会と幕末日本
～人物で読み解く～

1867年パリ万国博覧会には、「幕末日本」の諸相が凝縮していました。万博に際して、実弟を派遣した徳川慶喜。将軍名代として派遣された徳川昭武、そして昭武に随行する渋沢ら幕臣、お供の水戸藩士たち。万博以前、既にヨーロッパへわたり留学していた薩摩学生徒たち。そして幕府に対抗して万博に出品し

た薩摩藩、佐賀藩と、それぞれ両藩の万博派遣団。

彼らは何を思い、どのように行動し、そして維新を迎えたのか。150年前に開催されたパリ万博を軸に、交錯する彼らの思いと行動について、それぞれの視点から研究報告とディスカッションを行います。

2017年11月19日(日)
10:30～17:00会場 | 日仏会館ホール
定員 | 定員150名
(事前申込・先着順)

費用 | 無料

主催 | 公益財団法人渋沢栄一記念財団
公益財団法人日仏会館
松戸市戸定歴史館

お申し込み方法詳細は、公益財団法人渋沢栄一記念財団のホームページをご覧ください。

11
/
18

講座 [全3回]

『航西日記』を読む

『航西日記』(全6巻)とは、渋沢栄一と杉浦謙の共著で、明治4年から5年にかけて出版した読み物です。慶応3年に徳川昭武の随員として渡欧した二人が、旅の様子やフランスを始め欧州各国の社会状況、パリ万国博覧会などを日記形式で紹介しています。「知る」、「読む」、「味わう」をキーワードにした全3回の講座を通じて、『航西日記』の魅力に迫ります。

定員 | 各回30名

費用 | 各回500円 (入館料および資料代)

全3回すべて要事前申込。

お申し込み方法詳細は、公益財団法人渋沢栄一記念財団のホームページをご覧ください。

第1回『航西日記』を知る

講義形式で『航西日記』を楽しむ。『航西日記』にはどのようなことが書かれているのか? 基本的な事項や、さらに「社会経

済史」、「日本語学」の視点から、『航西日記』を読むうえでのポイントをご紹介します。

2017年11月18日(土)13:15～15:00

講師 | 荒尾禎秀氏 (元放送大学東京多摩学習センター客員教授)

田崎宣義氏 (元放送大学東京多摩学習センター所長)

関根仁 (渋沢史料館学芸員)

会場 | 渋沢史料館

12
/
212
/
9

第2回『航西日記』を読む

『航西日記』の版本(コピー)をテキストにして、参加者の皆様と実際に『航西日記』を読みます。

今から150年前に、フランスをはじめヨーロッパ各国を旅行した渋沢栄一たちの気分になって、『航西日記』の世界を楽しみます。

*参加者の皆様にはできるだけ各自で予習をして講座に臨んでいただけます。『航西日記』のテキスト(版本のコピー)を、第1回(11月18日)の終了時に配付します。第1回に参加しなかった方は、開講日までにご来館のうえ、テキストを受け取ってください。

2017年11月2日(土)13:30～15:00

講師 | 関根仁 (渋沢史料館学芸員)

会場 | 渋沢史料館

第3回『航西日記』を味わう

『航西日記』にはフランス船内で「コーヒー」を飲んだとの記述があります。大正建築・青洲文庫で、徳川慶喜ゆかりのコーヒーを味わ

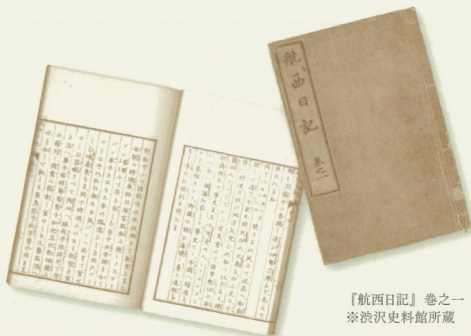
いながら、齊藤・井上両館長のトークをお楽しみいただけます。どんなお話が飛び出すのか?ご期待ください。

2017年12月9日(土)13:30～15:00

講師 | 齊藤洋一氏 (松戸市戸定歴史館館長)

井上潤 (渋沢史料館館長)

会場 | 渋沢史料館 青洲文庫

『航西日記』巻之一
※渋沢史料館所蔵